

令和7年度 川崎市病院事業会計決算（見込）の概況を公表します

○ 総括事項・経営成績

病院事業全体（市立3病院計）の収益的収支は、診療収入が増加した一方で、人件費の上昇や物価の高騰などに伴い支出が大幅に増加したことにより、27億5千万円余の赤字となりました。

市立3病院の経営成績（税抜）

区 分	川崎病院	井田病院	多摩病院※	合 計
収 入	270億4,348万4,229円	110億1,377万4,283円	22億1,950万 60円	402億7,675万8,572円
支 出	286億6,573万1,079円	129億9,308万6,282円	13億7,760万6,501円	430億3,642万3,862円
収支差引	△ 16億2,224万6,850円	△ 19億7,931万1,999円	8億4,189万3,559円	△ 27億5,966万5,290円

※多摩病院は利用料金制を適用しているため、多摩病院の診療収益等は市病院事業会計の決算に含みません。

○ 業務実績

川崎病院の入院患者数は増加した一方で、各病院の入院、外来の患者数は減少しましたが、主に診療単価の上昇により、各病院の収入は増加しました。

市立3病院の患者数

	川崎病院	井田病院	多摩病院
延べ入院患者数	180,480人（+4,863人）	100,722人（△ 2,246人）	107,137人（△ 1,653人）
平均入院日数	12.6日（+0.3日）	16.1日（△ 0.7日）	10.9日（△ 0.6日）
延べ外来患者数	282,421人（△ 11,963人）	126,300人（△ 2,024人）	207,246人（△ 5,359人）

市立3病院の入院・外来診療収入（税抜）

	川崎病院	井田病院	多摩病院
入 院	149億7,666万円（+7億5,567万円）	54億2,082万円（+8,102万円）	75億5,637万円（+3億5,737万円）
外 来	68億7,891万円（+4億8,652万円）	24億4,866万円（+5,094万円）	32億6,427万円（+5,529万円）

※（ ）内は前年度比較

○ 業務状況

＜川崎病院＞

高度・特殊・急性期医療、救命救急医療を中心に、小児から・成人・高齢者・妊産婦等への医療や、精神科救急医療などを提供しているほか、市内唯一の感染症病床における感染症患者の受入れを行っています。また、増加する救急搬送やがん等の医療需要に対する医療機能の拡充や防災機能の強化等を目的とする川崎病院医療機能再編整備については、令和5年11月に着手した救命救急センター棟の新築工事を令和8年11月中旬頃の運営開始に向けて引き続き進めています。

＜井田病院＞

増大するがん等の成人疾患医療や、救急医療、緩和ケア医療等を提供しているほか、市内唯一の結核病床を有する病院として、結核患者への透析の対応等、結核医療も行っています。また、災害拠点病院としての役割を担っているほか、在宅療養後方支援病院として、地域の在宅医をサポートする取組を進めるとともに、地域医療支援病院として、地域医療連携の取組を進めています。

＜多摩病院＞

小児救急を含めた救急医療を中心に、急性期医療、アレルギー疾患医療、緩和ケア医療等を提供しているほか、災害拠点病院としての役割も担っています。また、地域医療支援病院として、地域のかかりつけ医等への支援・連携を進めるなど、北部地域の中核病院としての役割を果たしています。なお、本病院は指定管理者制度を採用し、学校法人聖マリアンナ医科大学が運営管理を行っています。

○ 主な建設改良

＜建設工事＞

川崎病院では、救命救急センター棟新築工事のほか、昇降機長寿命化整備を実施しました。井田病院では、医療用ガスマニフォールド設備の更新整備を実施しました。また、多摩病院では、冷暖房設備等の改修工事を実施しました。

＜医療器械＞

医療器械については、川崎病院では、汎用血管撮影装置、循環器用血管撮影装置の更新等を行いました。井田病院では、調剤支援システムの更新等を行いました。

【問合せ先】 川崎市 病院局 経営企画室 経理担当 川村 電話 044-200-3855（内線：70520）

令和 7 年度 川崎市病院事業会計決算総括表

(収益的収支)

(単位 : 円、%)

会 計 名		収 入	支 出	差 引	税抜処理後純損益	前年度繰越損益	その他未処分利益 剰余金変動額	当年度未処理損益
病院事業会計	予 算 現 額	42,535,777,000	44,851,545,000	△ 2,315,768,000	—	—	—	—
	決 算 額	40,438,591,987	43,147,581,463	△ 2,708,989,476	△ 2,759,665,290	△ 19,444,902,254	—	△ 22,204,567,544
	執 行 率	95.1	96.2	—	—	—	—	—

(資本的収支)

(単位 : 円、%)

会 計 名		収 入	支 出	差 引	補 填 財 源 等				再 差 引	備 考
					繰越工事資金	損益勘定 留保資金	前 年 度 財源充当額	そ の 他		
病院事業会計	予 算 現 額	11,329,260,000	14,218,959,118	△ 2,889,699,118	—	2,856,018,118	—	33,681,000	—	
	決 算 額	5,840,002,200	9,148,141,134	△ 3,308,138,934	166,300,000	2,316,066,706	△ 169,225,482	994,997,710	—	
	執 行 率	51.5	64.3	—	—	—	—	—	—	

令和7年度 病院事業会計決算（見込）のポイント （税抜き）

<病院事業全体>

			令和7年度決算 （見込）	令和6年度決算	増 減額	増 減率	備 考
1 収益の収入			402億7,700万円	373億2,900万円	29億4,800万円	7.9%	
主な 収入	入院診療収入		203億9,700万円	195億6,100万円	8億3,600万円	4.3%	1人1日平均診療収入の増による川崎病院及び井田病院の増
	外来診療収入		93億2,800万円	87億9,000万円	5億3,800万円	6.1%	1人1日平均診療収入の増による川崎病院及び井田病院の増
	他会計繰入金		68億2,500万円	59億4,600万円	8億7,900万円	14.8%	一般会計繰入金の増
2 収益の支出			430億3,600万円	404億4,300万円	25億9,300万円	6.4%	
主な 支出	給与費		203億 400万円	187億3,100万円	15億7,300万円	8.4%	給与改定、職員数増などに伴う給料、手当等の増
	材料費		92億4,300万円	84億7,500万円	7億6,800万円	9.1%	薬品費、診療材料費の増
	経 費		78億2,700万円	78億3,500万円	△800万円	△0.1%	光熱水費の減
3 経常損益			△28億5,300万円	△32億9,500万円	4億4,200万円	13.4%	
内訳	川崎病院		△13億7,300万円	△18億5,800万円	4億8,500万円	26.1%	
	井田病院		△19億3,500万円	△18億8,400万円	△5,100万円	△2.7%	
	多摩病院		4億5,500万円	4億4,700万円	800万円	1.8%	
4 純損益			△27億5,900万円	△31億1,400万円	3億5,500万円	11.4%	
内訳	川崎病院		△16億2,200万円	△20億7,700万円	4億5,500万円	21.9%	
	井田病院		△19億7,900万円	△18億4,200万円	△1億3,700万円	△7.4%	
	多摩病院		8億4,200万円	8億 500万円	3,700万円	4.6%	
5 資金不足比率			— （資金不足となっていない）	— （資金不足となっていない）			参考：財政健全化法における経営健全化基準 20%

※ 金額については百万円未満を四捨五入（一部、端数調整有り）

※ 増減率については小数点第2位を四捨五入